

竹原市決算特別委員会

令和元年9月26日開議

審査項目

○民生産業委員会関係集中審査

【福祉部・建設部関係の一般会計・特別会計】

(令和元年9月26日)

出席委員

氏 名	出 欠
堀 越 賢 二	出 席
山 元 経 穂	出 席
松 本 進	出 席
宇 野 武 則	出 席
吉 田 基	出 席
宮 原 忠 行	出 席
道 法 知 江	出 席
川 本 円	出 席
高 重 洋 介	出 席
竹 橋 和 彦	出 席
今 田 佳 男	出 席
下 垣 内 和 春	出 席

職務のため会議に出席した者は、下記のとおりである

議 会 事 務 局 長 住 田 昭 徳

議 会 事 務 局 主 事 森 田 愛 美

説明のため会議に出席した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名
福 祉 部 長	久 重 雅 昭
社 会 福 祉 課 長	西 口 広 崇
健 康 福 祉 課 長	森 重 美 紀
建 設 部 長	有 本 圭 司
建 設 課 長	大 田 哲 也
都 市 整 備 課 長	西 吉 八 起
下 水 道 課 長	藤 本 嗣 正

午前9時59分 開議

委員長（堀越賢二君） 皆さんおはようございます。

ただいまの出席委員は12名であります。定足数に達しておりますので、ただいまから第4回決算特別委員会を開催いたします。

本日は、福祉部、建設部の集中審査に入ります。それではレジュメに沿って始めていきたいと思います。

まず、民生産業委員会所管の福祉部関係、一般会計の歳出から入ります。

総務費の総務管理費、公共施設ゾーン整備費、141ページになります。141ページの中段の部分となります。

松本委員。

委員（松本 進君） ここの公共施設ゾーンで1点だけお尋ねしたいのは、今回の決算が968万円余りとなっておりますが、この事業の進捗状況と今後の計画とございますか、そこを説明いただければと思います。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 公共施設ゾーン整備に要する経費なんですけど、これは児童館の移転に伴う経費でありまして、30年度でもう移転を済ませております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

高重委員。

委員（高重洋介君） 公共施設ゾーン整備に要する経費の中の修繕料が263万9,076円か、設計業務委託料というのは、これは解体の設計だとは思いますが、あと施設整備工事に578万円、この内訳を教えてください。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 修繕料の263万9,076円なんですけど、これは空調設備の修繕とか雨漏り修繕、駐輪場の設置の枠の線引きの内容でございます。それと、設計業務委託料49万3,500円なんですけど、これ児童館に伴う設計になります。それと、施設整備工事578万8,800円なんですけど、これは旧勤労青少年ホームの軽運動場の改修という形で、ステージ撤去とか、窓に転落防止の枠を設置するとか、そういう形で内装工事などをやっております。また、トイレにしても、1カ所洋式のトイレに変更をしております。

委員長（堀越賢二君） 高重委員。

委員（高重洋介君） ありがとうございます。

この年、多分、クーラーの調子が悪くて直されたと思うのですが、例えば空調設備、あれは今、使っていないではないですか、施設自体を。その空調設備は修繕されたのですか、それとも新しくやりかえたのですか。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 空調設備は、以前からある空調を修繕して、今、使っているという状況でございます。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、民生費に移ります。

民生費、社会福祉費の社会福祉総務費、157ページになります。この中の国民健康保険事業に要する経費は除きます。済みません。155ページからです。

まず、155ページでお願いします。済みません。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 157ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 159ページの上段。

今田委員。

委員（今田佳男君） 生活困窮者自立支援で一番下の13、委託料が2つあるのですが、この委託先をお願いします。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 自立相談支援委託料ですが、これは社会福祉協議会、また家庭相談支援委託料につきましても、社会福祉協議会に委託をしております。

委員長（堀越賢二君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 委託されて、例えば実際の相談件数とかというのは、把握はされているのでしょうか。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 自立相談支援委託料の方ですが、相談件数が71件、そのうち社協の方が57件で、市の方でも14件相談を受けております。また、家庭相談支援

の委託料の方ですが、相談件数が8件という形になっております。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、障害者福祉費に移ります。

159ページ。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 161ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 163ページ。

道法委員。

委員（道法知江君） 163ページの障害者援護事業に要する経費の20番の福祉タクシーの乗車助成費ですが、これは障害者の福祉の増進のために利用料金の一部を助成するということであると思いますが、近年、人工透析の方等も増えているというふうな実態はあると思いますが、まず交付枚数をお聞きさせていただきたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 福祉タクシー乗車助成費についてのお尋ねでございます。

タクシー券の配布枚数でございますが、通常の重度障害者に対しましては月2枚の12月分で24枚を助成しております。人工透析の方に対しましては、月6枚の12月分の72枚、年間72枚を助成しております。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） ありがとうございます。

特定疾病の場合は72枚ということですが、例えばいただいた枚数が残るということのを伺ったことがあるのですけども、そういった場合、残ですよ、残りはどのように対応されているか、伺いたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 年度当初に申請いただきまして、全て、24枚と72枚を交付しておりますので、実際に、タクシーに使われる時に1枚ずつ使われますので、残っている分はそのまま使わずに、お手元にあると思っております。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） その残った枚数が手元にあるということの、個々に確認等はされて

いないということによろしいでしょうか。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 確認はしておりません。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） 最後ですけれども、これは助成でありますので、実態というか、年々どのように使われているのかということの、個人情報といえども、状態、健康になっておられれば、使わなくてよくなれば、それは一番こしたことはないと思うのですけれども、それも助成されているということを考えると、その辺の、ある程度の調査というのは必要ではないかと思いますが、今後の見解をお伺いさせていただきたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 実際に、タクシー券、移動支援についてどのようなニーズ、要望があるか、今後、また障害福祉計画も策定いたしますので、アンケート等で調査研究してまいりたいと考えております。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、165ページの上段。

道法委員。

委員（道法知江君） 7番、デイサービスセンター管理に要する経費ですけれども、この清掃委託料、どこに委託、清掃委託料としてされているのかということをお伺いさせていただきたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） エムケイ興産でございます。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） これ、何カ所かあると思うのですけれども、何カ所されているのか、清掃を。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） こちらのデイサービスセンター管理に要する経費というのは、保健センター内にある竹原市障害者デイサービスセンターのことでございまして、こちらの清掃委託料でございます。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） おそらく、聖恵さんもそうではないかなと思うのですが、聖恵さんの方は、清掃の費用は入っていないという理解でよろしいのでしょうか。保健センターはわかります。聖恵さんの方は、清掃は入っていないのかどうか。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 聖恵のデイサービスセンターのことだと思うのですが、聖恵の方のデイサービスセンターは、法人さんの方で運営されておりますので、うちは把握しておりません。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、老人福祉費に移ります。165ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 167ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 169ページ。こちらは、9番の老人保健事業に要する経費は除きます。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、福社会館費に移ります。

175ページから177ページの中段まで。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、老人福祉施設費に移ります。

こちらの事業費、183ページ下段となります。よろしいですか。

道法委員。

委員（道法知江君） 黒滝ホームの運営の15番の施設補修工事、どのような補修工事が行われたのか、お伺いさせていただきたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 平成30年度の施設補修工事につきましては、内装の壁とかクロス、それから床のクロス、非常灯の非常用電源、こういった工事をさせていただいております。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） この施設補修工事だと、29年度修繕料が260万円かかってい

て、30年度も258万円かかると。年々、このような老朽化というのが著しいものかどうかということをお伺いさせていただきたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 黒滝ホームにつきましては、もう建設から30年程度たっておりますので、老朽化は進んでいると考えております。補修工事の費用は、毎年度必要になってくるのではないかと考えております。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） それに対する、毎年毎年これだけの予算がかかるということに対して、担当課ではどのような検討というか、されているのか、お伺いさせてください。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 黒滝ホームの運営も含めた検討ということになると思うのですが、検討は長年続けてきているのですけれども、実際に、施設に入所されている方もいらっしゃると思いますので、簡単に結論の出る問題ではないと思いますが、今後、検討していくべき課題だと考えております。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、児童福祉費の児童福祉総務費、185ページとなります。こちらの3番の乳幼児等医療給付に要する経費は除きます。185ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、187ページ。

道法委員。

委員（道法知江君） 済みません。申しわけありません。187ページの子ども・子育て支援事業に要する経費、13番、病児・病後児保育委託料ですけれども、病児、月、火、水、金だったですか、開設されているという。開設の実態とそこに関わった病児の数、そして病後児もあわせてお伺いさせていただきたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 病後児の数ですが、利用者は62名……。

委員（道法知江君） 病児。

社会福祉課長（西口広崇君） 病後児。それと、病児の方は64名であります。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） これは延べの人数ですか。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 延べの人数です。

委員（道法知江君） わかりました。ありがとうございます。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、保育所費に移ります。

187ページ下段から189ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、191ページの中段まで。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、児童福祉施設費に移ります。

191ページ中段から193ページの中段までとします。

今田委員。

委員（今田佳男君） 193ページの放課後児童クラブに要する経費ですけれども、指導員さんとか出ているのですが、指導員、それから指導補助員ですか、人数は現状で充足しているのかどうか。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） どうしても、預けられる児童の数が増えておりますので、現時点では充足しているような状況ではございますが、今後についても、受け入れ体制を整えるために、募集等々行ってまいりたいというふうには考えております。

委員長（堀越賢二君） 今田委員。

委員（今田佳男君） 上の方が市が直営で、13番で委託もありますよね。委託先については、今の方がというか、指導員が充足しているかどうかというのは、確認されているのですか。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 受け入れ体制ができているということであれば、充足しているというふうな形で捉えております。また、面積あるいは人数によって、何人つくかというような形もありますし、子どもさんの状況によっては、加配でつくということもありますので、そういう部分では、相談の方がうちの方にはないということは、多分、充足して

いるというふうには考えております。

委員長（堀越賢二君） 今田委員。

委員（今田佳男君） これは決算なので、今後、児童クラブ全体をどういうふうによっていくかということも関わってくると思うのですが、人数が、指導員の方が今言われたように、加配とかで非常に調整が難しいという話も聞いているので、十分に調整していただくようお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、母子福祉費に移ります。

193ページ下段から195ページの上段までとなります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 続いて、児童手当費、195ページの中段部分となります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、生活保護費に移ります。

生活保護総務費、195ページの下段から197ページの下段まで。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 同じページの扶助費、下段部分となります。

松本委員。

委員（松本 進君） ここの生活保護費に関わって決算資料も1番に出してもらっております。ここで伺いたいのは、相談件数と申請件数が決算年度前と比べて大幅にどうですか、減っている傾向があって、それに伴って保護対象そのものも減っているということで、お聞きしたいのは、特別な支援体制といいますか、そういう自立支援のための支援体制なんかを行われて、こういった大幅に相談件数なり、申請件数が減っているのかどうか、そこをまずお聞きしたいと。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 委員おっしゃられますように、困窮者の自立支援等の事業もありまして、生活保護に該当になる前の世帯とかという部分については、そういう支援もありますし、そういうことで生活保護の申請も少なくなっているというふうには考えております。

委員長（堀越賢二君） 松本委員。

委員（松本 進君） そういう支援があつて減り方が、相談件数なり、申請件数でも、平成29年度と30年度で見たら3割ぐらい、率としては、件数は13件、3割減っているという面では、そこが対応しているからということ、今、ありました。

それと、あとその関連で気になるのは、決算資料の分で、一番下の方に生活保護費のどれぐらい出るかというのを出していただいております。40代夫婦、子ども2人ということで試算がどのぐらい出るかということも出してもらっているのですが、気になるのは、特に若い世代の分で、保護費が1万1,710円に減る率になると思うのですが、24年と平成30年を比べたら1万1,710円、率にして4.85%減るということになっていますけど、若い人からしたら、食費なんかとかいろいろ要るのかなという、普通は考えるわけですが、どこを減らされて、どういった理由といたしますか、どこが主に減っているのか、そこらを説明してもらえればと思います。

委員長（堀越賢二君） 社会福祉課長。

社会福祉課長（西口広崇君） 生活扶助費の基準でございますが、これは国の方が社会情勢等々を調査しながら基準を設定しておりますので、どこがどういうふうに変ったかというところは、把握はできていない状況ではあります。

委員（松本 進君） よくわかりました。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、災害救助費に移ります。

199ページから203ページまでとなりますが、この中の1番、災害見舞に要する経費、それと2番、災害救助に要する経費のうち項目が書いてあります。備考欄の中の部分となりますので、そちらの部分でよろしく願いいたします。

まずは、199ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 201ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 203ページの上段部分。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、衛生費に移ります。

保健衛生費の保健衛生総務費、203ページから205ページの中段までとなります

が、このうち、3番の公衆衛生推進に要する経費と4番の原爆被爆者対策に要する経費は除きます。

松本委員。

委員（松本 進君） 205ページの5番で、自殺対策の事業が計上されています。この決算資料を要望をしたのですけども、1つ、昨年と同じ資料で、要するに30年度がまだ未集約というふうになっているのではないかと思うのです。決算年度が未集約になっているというのは、これはなぜなのかということと、今、把握されていれば報告してもらいたいと。

それから、関連するのですが、この事業での相談件数はどのぐらいあって、こういう、経済的とかいろいろ事情があると思うのですが、主な相談内容、わかれば報告していただければと思います。

委員（川本 円君） 松本さん、資料何ページですか。

委員（松本 進君） ごめんなさい。41ページ。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 決算資料につきましては、新しいものが出せなくて大変申しわけなかったのですが、9月に例年、前年の死因統計が発表されるのですけれども、今年度はまだ発表されておられませんので、前年度と同様のものを提出させていただきました。

また、相談件数につきましては、電話相談が137件、面談が2件でございます。主な相談内容でございますが、人生に関わる相談が44件、家庭に関わるものが38件、対人関係に関わるものが24件、保健医療に関わるものが12件、その他が21件でございます。

委員長（堀越賢二君） 松本委員。

委員（松本 進君） 確かに、いろいろ人とか、いろんな悩みとかあるのですけども、特に私が聞くのは経済的な面を含めて、商売をしていたらいろんな経済的な面とか、家庭での支出のそういった経済的な部分があるのですけど、ここの中には出てこなかったもので、把握の仕方がそこに入っているのかどうか、1つはそういった経済的な要因もあるのではないかと思いますけど、そこらはどう考えておられるかなと。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 経済的な面での御相談も、もちろんございます。

委員（松本 進君） 件数は把握していますか。

健康福祉課長（森重美紀君） 人生に関わる相談の方に入っていると思いますので、件数については分けておりません。

委員（松本 進君） わかりました。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、健康増進対策費、205ページから207ページの下段までとなりますが、この中の205ページの1番、健康づくり推進に要する経費のうち、11番、消耗品費、印刷製本費、13番、後期高齢者健診委託料、こちらは除きます。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 207ページでいいですか。

委員長（堀越賢二君） はい。

委員（下垣内和春君） 207ページのがん対策に要する経費のうちの委託料ですが、計画では2,560万円、実際に決算では2,300万円ということで、若干減っているということなんです。この検診を受けられた人数とか、どういう検診を受けられているかという種類別のことを教えていただきたい。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） がん検診の内容でございます。

胃がん検診が546名受診されました。肺がん検診が1,831名、大腸がん検診が2,148名、子宮頸がん検診が371名、乳がん検診が347名でございます。

委員長（堀越賢二君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 今、国民的には半分の方ががんにかかるよということがあるので、市の方もしっかりと、そういう支援策ということをとっていらっしゃると思いますが、今後、そういうことについて、今以上に啓発活動等していただきたいわけですが、その辺について最後にお聞きしたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 委員言われるとおりに、がん検診の受診については、今後の健康づくりのため、重要な取組だと考えております。受診勧奨に力を入れるとともに、精密検査が必要になった時に、受診をしていただくように力を入れてまいりたいと考えて

おります。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） 私も同じところで申しわけありません。がん検診の委託料の件なのですけれども、県の方は受診率50%を目標にということで、デーモン閣下によるポスター等も有名になっていると思うのですが、デーモンかかあといって、女性のがん検診の推進というものも県の方では行っているということで、今の説明ですと、子宮がんが371名で、乳がんが347名という報告だったと思います。

特に、女性の検診の推進ということでは、どのように力を入れて、今後行われるのかなということと、それと休日検診が、平日ではなかなか検診に行かれない、休日検診があるのかどうか、お伺いさせていただきたいと思います。あればどちらで。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 済みません。先ほどの受診者数ですが、子宮がん、乳がんにつきましては、集団検診の受診者数をお伝えしてしまいました。子宮頸がんが集団検診は371名、個別検診が626名でございます。乳がん検診が集団検診が347名、個別検診が508名でございます。

女性の検診にどのように力を入れているかということでございますけれども、レディース検診日というのを設けまして、女性の医師による検診を行ったり、休日も土曜日の方で検診を行っております。県内で行っている10月のがん検診の受診月間におきましては、市内の医院、病院につきましても、日曜日に開設していただいております。1カ所です。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） もう一度、今の現状の受診率をお伺いさせていただいても、胃がんから全部教えてください。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 受診率についてでございます。

まず、胃がん検診につきましては、エックス線の検査が受診率に含まれませんので、胃がん検診の受診率が8.2%、肺がんが19.3%、大腸がんが25.8%、子宮頸がんが52.2%、乳がんが50.1%でございます。

委員（道法知江君） ありがとうございます。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、予防費、207ページから209ページの上段。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、母子健康費に移ります。

まず、211ページ下段。

道法委員。

委員（道法知江君） 済みません。母子健康推進に要する経費、妊婦健診の受診報償、この名称はこういう呼び方でよろしいんですよね。これは、以前の奨励費ということの意味でいいのかどうか。1回、今、2,000円ですよね。これを使われておられる方、今現実、平成30年度に対応された人数、あわせてお伺いさせていただきたいと思います、実績。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 委員おっしゃられるように、妊婦健診の支援費として、1回2,000円、上限14回を交付しているものでございます。平成30年度の実績は、95人に対して交付しております。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、続いて213ページと215ページの上段部分です。

道法委員。

委員（道法知江君） 213ページの13番のところですけども、妊婦・乳児健康診査の健康診査、乳児の健康診査の内容をまずお教えいただきたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 乳児一般健康診査でございますが、1歳未満の乳児に対し、委託医療機関において検診を行っていただいております。必要に応じて、適切な指導を行っていただいております。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） あ、内容ですけれども、検査の内容というものを伺ったので、実績と内容を教えてください。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 体重、身長測定、それから予防接種の指導、あと発育チ

ェック等を行っていただいております。

平成30年度の実績でございますが、受診児童の実人員が143名でございます。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） この143名、対象者全部というふうな、何%になっているか、対象であるべき人数に対して実際が143名だったということですけど。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 乳児健診が2回、券を交付しておりますので、前年に1回受けて、次の年に1回受けるというような方も含まれますので、対象児童の範囲というのが、率が出していないのです。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） わかりました。特に、1歳未満の健診は重要な健診、2回というのは非常に大事だと思いますので、対象者に対して何%の方が健診できたかどうかというのは、把握をきちっとまた教えていただければなというふうに思っております。ここは終わりになんですけど、引き続き、いいですか。同じところでいいですか。

委員長（堀越賢二君） はい、いいです。

委員（道法知江君） 同じページでよろしいですか。済みません。

19番、不妊治療の支援費の補助金なんですけれども、この補助金の内訳を教えてくださいと思います。それと、実績の人数、対象者は何歳からになっているか。

委員長（堀越賢二君） 答弁に時間かかりますか。

健康福祉課長（森重美紀君） 実績はすぐ出るんですけど、内容……。

委員長（堀越賢二君） では、まず実績を。

健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 平成30年度の実績でございますけれども、延べ人員として12人に助成しております。

委員長（堀越賢二君） どうぞ。

健康福祉課長（森重美紀君） 内容でございます。

内容については2つございまして、特定不妊治療というのがまず一つ、この内容は高度生殖医療でございまして、体外受精とか顕微授精に関わるものでございます。対象者が、県の不妊治療助成事業に決定された方で、妻の年齢が43歳未満の方でございます。助成費用は、県の助成を除く自己負担の2分の1となっております。

もう一つが一般不妊治療でございます。これは、タイミング療法ですとか薬物療法、人工授精に対して助成を行うものでございます。対象者は、県の不妊治療助成事業に決定されたか、妻の年齢が35歳未満の方でございます。これについても、県の助成を除く自己負担でございます。

委員長（堀越賢二君） 道法委員。

委員（道法知江君） 最後に、男性の不妊治療というのは入っていないというふうに理解してよろしいでしょうか。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 男性の不妊治療も入っております。一般の方に入っております。

委員（道法知江君） わかりました。

委員長（堀越賢二君） よろしいですか。

委員（道法知江君） はい。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、診療所施設費に移ります。217ページの中段。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 続いて、保健センター費、217ページから219ページの中段まで。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、土木費に移ります。

土木費の都市計画費の都市再生整備計画費、267ページとなります。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、教育費に移ります。

教育費の社会教育費の中の青少年指導費、ページ数は317ページとなります。この中の2番、青少年指導等に要する経費のみとなります。済みません。ページは319ページの上段までわたっています。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、災害復旧費に移ります。

厚生労働施設災害復旧費の中の2番、民生施設災害復旧費、ページ数は335ページとなります。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、一般会計の部分を終了します。

続いて、特別会計に移ります。

介護保険特別会計の歳入に移ります。

ページに沿っていきます。見開きのページの右のページを読みますので、見開きとしてみてください。

介護保険料、403ページ。

松本委員。

委員（松本 進君） この滞納のことについて確認をさせていただければと思います。

決算資料でも43ページに滞納者の数、108人とか、46ページの決算資料ではその後の、対応した分が一番の下の方の納税緩和措置の適用状況というのがあります。

ここで確認したいのは、税とか国保税の税の時、いろいろ滞納処分の執行停止は行われて、ここにも介護保険料の執行停止が33件、350万円弱というふうにあります。確認しておきたいのは、税の場合は、執行停止が3年続いた場合は、それ以降は免税措置、不納欠損というのですか、適用するということですが、介護保険料についても同様の措置が行われるかどうかを確認しておきたい。

委員長（堀越賢二君） 健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 不納欠損させていただいております。

委員長（堀越賢二君） 同じなんでしょうか。

健康福祉課長。

健康福祉課長（森重美紀君） 時効に係る年数につきましては、介護保険料でございますので、2年となっております。

委員（松本 進君） 2年以降は不納欠損、わかりました、2年ですね。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、405ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 407ページ。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、歳出に移ります。

409ページ。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 411ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 413ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 415ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 417ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 419ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 421ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 423ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 425ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 427ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 429ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 以上で福祉部の集中審査を終了いたします。

説明員入れ替えのため、11時5分まで暫時休憩します。

午前10時53分 休憩

午前11時03分 再開

委員長（堀越賢二君） それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

続いて、建設部の集中審査に入ります。レジュメによって進めますので、よろしく願います。

まず、一般会計の歳出、総務費の総務管理費の一般管理費、ページ数は121ページの9番、地域公共交通に要する経費のうち、8番の委員報償、9番費用弁償、13番地域公共交通確保検討委託料、こちらのみとなります。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 13番の地域公共交通確保検討委員会、このメンバーと内容について。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） こちらの竹原市地域公共交通網形成計画策定支援業務委託におきましては、昨年度、調整課の方で発注をされた公共交通網の骨子案、計画案の策定までの業務になっております。こちらの方が、八千代エンジニアリングが落札されまして、入札方法はプロポーザルでされたと聞いております。1社の応募で1社で決まった状況になっております。こちらの契約金額の方が563万2,200円という形になっております。

以上です。

委員のメンバーですか。

申しわけありません。委員会のメンバーということなのですが、選定委員の方には副市長、企画振興部長、企画振興部参事、建設部長、教育次長という形になっております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 現実的に、検討委員会は市の職員が中心になっているのですが、実際、北部の方は相当転換しないと、お客さんはバスに乗っていないですよ、バスでも。交通といったら、当然、バスが中心になるわけですが、今の竹原市の市独自で取り組む課題として。

これ、どういうふうな結果が出ているのかよくわからないが、検討委員会をやる方がいいのか、ある程度、もう状況はわかっているわけだから、即断で何か結論を出さないと、余りよろしくないのではないですか、いつまでもこういうような500万円も予算をつけてやるということは。その点について。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 昨年度、素案を業務委託で作成しております、今、委員の方から御指摘いただきました、今の公共交通の将来のあり方、これを今年度、都市整備課の方で、直営で1年間で計画を策定する方向へ今進めております。

今、各公共事業者等と協議をしながら、今の路線関係、乗降人数が減ってきたところも今後どうしていく方向で進めるのが竹原市のそういう公共交通網のあり方としてふさわしいかというところで、今、骨子案の中へある9の項目の中で検討させていただいているところになりますので、今年度末で一応方向性は出していきたいと思えます。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、民生費に移ります。

民生費の災害救助費、ページ数は199ページ、少しページが飛びます。

199ページから203ページの上段部分となりますが、備考欄に書いてありますように、2番の災害救助に要する経費のうち、もろもろ書いてあります。こちらの部分のみとなります。

松本委員。

委員（松本 進君） 201ページの公共土木施設倒木・土砂撤去業務委託料ですか、870万円ぐらいあると思うのですが、ここでお聞きしたいのは、土砂と倒木、それぞれ集約されていたということなのですが、何立米ぐらいそういった移動なり、撤去されているのかなということと、関連するのですが、土砂で活用できるという、その活用が、状況があれば報告をお願いしたいというふうに思えます。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 倒木の量という御質問でございます。

こちらについては、今回、7月の豪雨災害で急遽業者をお願いをして、倒木の処理、土砂の撤去、またその下の項目の災害廃棄物、こちらはバキュームとなっております。この全体の量というのは、こちらに手元資料がございませんが、件数としては33件の業務を委託して処理を行っている状況でございます。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 土砂の活用についてはどうでしょうか。

建設課長（大田哲也君） 災害で発生した土砂につきましては、規定の土砂の指定された

処分場への処理をしております、その活用というのは、災害復旧等の土砂については、利用はしていない状況でございます。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 松本委員。

委員（松本 進君） 量の把握が今、ないということで、わからないということですから、活用について聞きたいのは、置き場のところへ置いたとして、その後に素人考えで言えば、例えば埋めたきれいな土というのですか、可能な分はどっかの埋め立てとか、ストックして埋め立てとか、生コンなんかの砂でしたら、素人考えで思えば利用できるのかなというような思いがあって、一時保管とかストックは必要なのでしょうけども、そういったのが活用できるところは最大限有効利用できないかなということで、見通しを聞いたわけです。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 今回、かなりの土砂が出ております。その中で、災害で発生した土砂の中には、体に悪い液体であるとか、また薬であるとか、そうした成分がまじっている可能性もあるということで、それを適正に処理するには、土質の調査、捨てる土についての検査をした上でないと利用はできないということで、今回はそうした適正な処分場へ処理をさせていただいたというところで御理解いただければと思います。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 先般、賀茂川の下流の方のブドウ畑を経営されているところをお邪魔したら、大潮の折、もう堤防を越えそうで冷や冷やしたんだというようなことをその家主さんが言っておられたが、賀茂川、本川、実際、本川なんかはもう1メートル以上浅くなっているのではないか思うのですが、最近の集中豪雨によって水位も高くなってきていると。それで、満潮時にかかる、満潮の水位も異常水位で高くなるということで、堤防を越えるような、あるいは上の方からしみ出るような状況もあるのではないかと思うのですが、賀茂川は県の直営事業だから、もうちょっと砂が流れた量と、それで浅くなった水深と、雨の量というようなことを計算してやってもらう、とってもらうところはとってもらいように運動をしないと、中学校の上の方はとっておられたが、下はもうほとんど手つかずだ。あれがまた、どっと、下流へ下流へ流れていくのですが、実際、昔からどんど

んといって、消防署の下は1メートル、2メートル近く深さがあつたのだが、今は完全に埋まっておりますので、そこらも全部総合的にやって、一遍にできないから、事故が起きた場合には困るので、ブドウ畑全滅になりますので、そこらをよく検討して、対応できるところは県にお願いして対応していかないと、予算も一遍にないので、行くたびに頼んでお願いすると、2年なら2年で、あるいは3年でとってもらおうというような考えはあるのかどうか。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） このたびの災害で土砂崩れ、かなり多く発生しております。その土砂は、全て川に流れ、また海に流出するという状況で、竹原市内の河川についてもかなりの土砂が堆積しております。

賀茂川については、一部、県の方で浚渫はしていただいておりますが、言われるように、中学校から下流の部分、こちらはまだ手がつけられていないところもございますので、今後、県に調査を依頼して、また堆積が多いところについては、浚渫の要望をしていきたいと考えております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 昨年も県の港湾課長のところへ行つて、この砂を、今はいろいろ理由があつて再利用できないような答弁だったが、実際、再利用しているところもあります。特に、竹原の場合は、砂をとつて20メートルぐらい浅くなつていたので、港湾課長にもそこらを考えたらどうですかというのを言ったのですが、実際、何がまざつている、かにがまじつていると言つても、現実にもうハチの方から相当浅くなつて、あそこ平らになつておりますから、だからそこらの利用するところも、もう限られているのですよ、実際。安芸津の方も満杯になつているし。だから、そういう新たな方法を、再利用も含めて、浅くなつたところへ投入するとか、多角的に検討してみるべきだろうと思うのですが、県とよく相談してやってみてください。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 今後、そうした利用できるものは利用するというところで、県の方と協議して進めていきたいと考えております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、農林水産業費に移ります。

農業費の農地費、ページ数は少し飛びます。231ページから233ページの中段まで、その中の233ページの5番、生活改善センターに要する経費の部分は除きます。

松本委員。

委員（松本 進君） 231ページのは場整備事業でお尋ねしたいと思います。

ここに精算金というのがありますから、このは場整備事業の精算に関わっても予算措置がされているというふうに理解したわけですが、前に聞いた時に、は場整備事業の効果といいますか、ここで、あなたのところで扱ったのかどうかわかりませんが、効果についての検証とかということも聞きました。そういった、終了してからこういったは場整備事業がどういった事業効果があるのかということとどのように検証されるのかということと、今後の竹原市内では場整備の計画について、現時点での報告を求めておきたいと思えます。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 事業後の効果ということで、先ほどの精算金の上に測量業務委託費18万3,600円がございます。これについては、は場整備を行った後の事後評価を第三者の委員会で、委員会を開催する費用となっております。第三者の総合評価としては、は場整備を行ったことによりまして、大型機械の導入であるとか経営の拡大、また高収益の作物の取組による農業所得の向上など、地域農業の活性化が進むことが期待されるとの評価をいただいているところでございます。

今後のは場整備でございますが、現在のところは、今、は場整備を行いたいという要望は、建設課にはいただいているところと見えます。今後の農業については、部署が少し、産業振興部の方になりますので、私の方からは答弁できないということで、御理解いただければと思えます。

委員（松本 進君） わかりました。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、次に樋門維持管理費、233ページから235ページの上段部分となります。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 昨年の災害時に、自動のポンプが竹原市は何カ所か設置されているのですが、樋門管理者も含めて、通常、指導していただかないと、災害があつて、毛木なんか特にそうなのですが、昨年も業者の方が大型ポンプを2台設置して、ようやく間に合ったような状態ですが、樋門が活用しないのです。今日のような集中豪雨で対応できるかどうか、指導が、時期の前になるとそれぞれ管理者に集まっていただいて、ポンプ場の点検とか、自動の場合は1年間ほとんど行きませんから、自動のところへ。楠通なんかいい例で活用しなかったでしょう。あれ、40センチぐらいあるのではないのか思うのですが、あれが回っておつたら大分水量が違うのではないのかというような地元の意見もありまして、福田にしても、自動に入るものについては、相当点検しておかないと、機械というものは回しているからいろいろ、いざといった折に回るので、我々も、機械でもずっと放っておくと、潤滑オイルも回らないし、電気系統なら電気が発火しないというものもありますので、その点について、今後の取組についてお伺いしておきます。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） ポンプの点検というのは、大変重要なことでありまして、災害が起こる前にそうした点検であるとか、管理をきちっとしておれば、軽減されるということもございます。今後、我々としても管理されている方、また点検についても、常に正常な状態で動くような形で点検をしていきたいと考えております。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） 吉田委員。

委員（吉田 基君） 樋門が、かなり農業用とか、用途によって樋門の種別がありますよね。吉名の郷川なんかでも、いつも、昔の樋門で機能が限界に来ているというか、ああいうのは今回の災害で、強靱化ということで補助金が出るようになるのですか。

関連して聞くのですが、要するに福田の樋門なんかも冠水するでしょう、いっぱい雨が集中したら。そういう、あそこの皆実町の樋門なんかも、昔も冠水しているでしょう。だから、採択が受けられる樋門については、ああいうのが利用できないのかなあとかという、災害復旧という名のもとに利用するといったらおかしいんですけど、老朽化した橋なんかでもやりかえるところが何カ所かありますよね。単市でやると多大な金が、災害ということであればある種、補助金の対象になっていけるとかという、樋門に関して、とりわけ危ないところなんかは、そういう手法というのは使えないのですか。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 言われるように、竹原市内、かなりの樋門を管理しております。その樋門も老朽化が進んでおります。そうした中で、傷みの激しい施設から更新をしていくためには、言われるように財源が必要になってきます。

今回も、この災害に補助金ではございませんが、有利な起債ということで、今回の議会にも提示をさせていただいたところがございます。そうした有利な財源を今後、そうした災害に伴う財源の確保、どこの市町もどうしても必要になってくると思いますので、そうした財源確保をして、適正な樋門の維持管理に努めていきたいと考えております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 吉田委員。

委員（吉田 基君） 竹原市の管内で、そういう災害復旧に関する起債、あれ、起債の充当率というのか、7割ぐらいだったのですかね。何カ所あって、今回そういうことで対策をとっていくというのは、どことどことどこというのはわかりますか。わかる範囲で。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 今回、測量費として2,000万円、工事1,000万円の予算を補正させていただいております。また、それだけでは十分でないということで、今後、そうした有利な財源を確保しながら、維持管理に努めてまいりたいと考えております。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、林業費に移ります。

林業総務費、235ページ。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 里山林整備委託料450万円余りですが、この事業内容と委託先について……。

委員長（堀越賢二君） 済みません、宇野委員。235ページの上段部分の林業総務費となります。里山が次の、はい。235ページです。

ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 続いて、林業振興費、こちら235ページから237ページとなります。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 失礼しました。それでは、13番の里山林整備委託料450万円余りあるわけですが、委託先とどういうふうな樹木が対象になっているのかが1点。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらの里山林の整備委託料450万円ですが、こちらは昨年の災害を受けまして、主に被害木の処理0.53ヘクタール、大型土のうの設置0.32ということで、主に災害の復旧というか、二次災害を防止するために、平成30年度は事業を行わせていただいております。

業者は、尾三地方森林組合で行っていただいております。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 今、吉名の国道工事をやっておられますが、竹がもう物すごい勢いで伸びております。今、工事をやっているところはずっているから、私は市内、ほぼ見て歩いておりますが、田ノ浦の上の方もそうですが、あれ、何であれだけ小さい竹がたくさん増えているのかなあ思っ、中には大きいのがあるのです。今、業者さんがカキいかだなんかで専門に、この近くに伐採しておられる方がいるし、竹原市の竹林、昨年一般質問でやろうと思っ、時間がなくてできなかったが、相当の竹林があるのです。その業者さんが申請したら、ことごとく断られたということです。担当課に聞くと、場所もわからなかったわけですが、ずっと調べているお方がおられて、そこへ資料をもらいにいけと言っで行ったんです。ただでやってくれるのです。業者は、それを切った大きなモウソウはカキいかだへ、それを話をしますと、安芸津のカキいかだが、宇野さん、うちも参加させてくれということで、だから生きた材料として使えるわけです。

もうちょっと、そういう限定して効果があるものやっていかないと、見て歩いたら、もうほんま、すき間がないぐらいになっているから、竹がだんだんだんだん小さくなって、それで結果、全国で大学の先生らが調べて、23%が地すべりの、竹やぶだという結論が出ているわけよ。だから、吉名なんかへ行ってわかるように、工事やっっているすぐ隣は物すごい竹が伸びている。あれがずったら、また工事やらなくてはならないわけだが。あれ、伐採すると水はけがよくなって、一定の間隔で切っておくと、そういう災害も大分減少するわけですが、そこらの取組について、今後の。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 御指摘のように、里山林の整備，そうした竹林の繁茂の防止という形で使われるものでございます。この事業費につきましても，ひろしま森づくり事業の県民税，こちらを使わせていただいているということで，財源もそうした財源でできるということで，今後，そうした竹林の繁茂の整備というところで，平成30年度は特に災害の対応というか，災害に特化したものでございましたが，今後，通常の竹林繁茂防止整備に，積極的に取り組んでいきたいと考えております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 竹原市は竹が市木でありますので，ある程度の整備はしておかないと，実際はイノシシも入らないような竹やぶになっているわけですから，整備したら竹は大きくなるのです。そのことははっきりわかっているわけ。だから，吉名の方の赤土なんか，竹でもいいというわけ，評価は高いのですが，そこらを丁寧に，計画的に整備して，今，タケノコ自体も足りないわけですから，整備することによってそういう利益も生むわけですから，もうちょっと，何を優先的にやったらいいかということも内部で検討して，ただ災害があったからというだけで一過性に終わらずに，そういうことも含めて，行政だから，税金を使うわけだから，生きたような形で使うようにやってください。

委員長（堀越賢二君） 松本委員。

委員（松本 進君） 237ページの治山事業の負担金について，23万4,000円，決算，執行されています。負担金ですから，全体の事業費としてはもう少し大きいのかなという，全体事業費と治山ということですから，竹原市における事業効果といいますか，そういったものをお聞きしておきたいと。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらの負担金でございますが，こちら，場所としては上成井北，新たに東野町で3カ所行っています。この負担金の率でございますが，1000分の3ということで，かなり負担額が少なくなっております。県の事業で行っております。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） 松本委員。

委員（松本 進君） まず，3カ所の治山事業ということでしたが，具体的に，どういったことをやられるのかなというのをもう少し，説明できればお願いしたいと。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君）　こちら治山事業，特に治山堰堤であつたり，主には治山の堰堤ということで整備をしていただいています。

今回の災害で治山の堰堤，また追加でやりますが，この3カ所については，これまでも計画的に整備を進めていた箇所ということで御理解いただければと思います。

委員長（堀越賢二君）　松本委員。

委員（松本　進君）　堰堤が，治山の分で大切な役割ということをおっしゃいましたが，今，3カ所も大切なのですが，あと竹原市内全域から見れば，まだいろんなところに堰堤とかがあって，よく聞くのが，堰堤がつくられたけども浚渫状況といいますか，これはとっていないのではないかとか，今回の去年の災害に関われば，特に事前にとれば何か防止できたというようなことも聞くものですから，全体もこうやっておられるのかなと思ったのが，今，3カ所が主ということで，あとは全体のところはどうなるのかなというのをお聞きしておけば。

委員長（堀越賢二君）　建設課長。

建設課長（大田哲也君）　堰堤には治山堰堤と砂防堰堤がございまして，通常，治山堰堤については，堰堤を築いて裏側に砂が堆積して，それが役目を終わると。砂防堰堤の場合は，たまれば取るということではあつたのですが，このたびの災害では，治山堰堤の裏にもかなりの堆積物がございます。そうしたものについては，下流に影響するものについては，県の方も堰堤の裏の土砂を撤去するという方針を打ち出しております。全体的に，今回の土砂災害によって，四十何カ所の治山堰堤，砂防堰堤を県，国が設置するようにしております。それ以外の堰堤というのは，今のところ，やる予定はないということで御理解いただければと思います。

委員長（堀越賢二君）　松本委員。

委員（松本　進君）　確認を含めて伺いたいのは，砂防と治山，いろいろあるのですが，治山の分に限定していえば，負担金があつて，私も竹原市全体の分で治山のところをチェックなり，監視なり，いろいろやる事業なのかなと思つていたのですが，今，3カ所のところの主に行われているということで，あと確認したかったのは，その後の，残りのところ，3カ所以外の治山の事業の分は，県がやるのでしょうかけれども，そこの扱いが，私はこの中に入っているのかなと思つていて，では，ここに入っていなかったらどこに入っているのかなという質問だったものですから，そこはわかりますでしょうか。

委員長（堀越賢二君）　建設課長。

建設課長（大田哲也君） 治山堰堤の負担金として市が負担しているのは、この3カ所でございます。これ以外にも、国、県が行う治山堰堤というものがございます。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、水産業費に移ります。

水産業振興費、ページ数は239ページが一番下になります。漁場基盤改良事業補助金、こちらについてのみとなります。

宇野委員。

委員（宇野武則君） この事業名と改良の場所がわかったら教えてください。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちら、事業名は漁場基盤改良事業、場所は、これは長浜3丁目沖となっております。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） これは、魚礁だろうと思うのですが、タコの魚礁か何か、その点について。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちらは、海底の中に自然石、1個1トンのものを、築いそを2カ所設置するというもので、大きさとしては、縦が13.5メートル、横が18.0メートル、高さが2.5メートルの石の小山を海底につくって、そこへ魚を呼んでくるというか、そこへ魚礁として設置するものでございます。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 築いそが一番効果があるのですが、三原市は毎年1,500個ぐらいタコつぼを入れて、この築いそをやった場合の調査は、大体1月か2月の一番透明度が高い折に、魚種の調査をしていたのですが、今はどうなのですか。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） この築いその整備は、平成15年から隔年で実施しております。この効果ということで、平成15年から平成26年、11年たった時に、長浜沖に潜水士が潜りまして、築いその調査を実施しております。その結果としては、魚類の生息を

確認しており、確実に漁場資源の維持、拡大が図られているという報告を受けております。近年では、最近では、平成26年以降は、そういう調査はいたしておりません。

以上でございます。

委員（宇野武則君） 最後に。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 並行して、これから今、地球の温暖化で栄養分のバランスが崩れているのです。築いそとともに、竹原市内にはいろんな施設が整っているのですから、広大もそうだし、そういうことも含めて総合的にやっていかないと、効果が余りわからないと思うのですが、実際、築いそをやって、今の答弁ではなしに、どういう魚種がどれぐらいの範囲で繁殖しているというような、せっかく潜りも入れてやるのなら、それぐらいのところまでやらないと、かつて長浜の藻場造成のところなんか、23種類の魚種が、全部魚種の名前も含めてお話をさせていただいておったわけですから、そういうちゃんとした答弁をしてもらわないと困るので、そこらの今後の取組について。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） この事業については、県の補助金が300万円、市の補助金150万円で行っております。こちら、先ほどいただいた御意見を、県の方も補助金を出している関係がございましたので、そうした事業の効果というものを今後調査するよう、県の方へ協議させていただきたいと思っております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 続いて、漁港管理費、同じく239ページとなります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 漁港建設費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、商工費に移ります。

商工費の商工総務費、239ページから243ページの上段までとなります。この中の4番、工業団地に要する経費の19番、竹原工業流通団地送水設備工事負担金は除きます。済みません。241ページの4番、工業団地に要する経費、この中の先ほど言いました19番を除くものとなります。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） では、土木費に移ります。

土木管理費の土木総務費， 249ページから251ページの上段部分です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、道路橋梁費に移ります。

道路維持費， 251ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、道路新設改良費， 253ページ。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 253ページの道路整備に要する経費のうちの新設改良工事，当初，2億300万円ですが，実際には5，324万9，080円ということで，ここはどこどこの工事をされて，幾らの金額がかかったのかを教えてください。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 新設改良5，300万円の内訳でございますが，こちら2路線でございます。市道宮床線の道路改良工事，こちらについては3，820万円，市道忠海中学校線道路改良工事に1，490万円ということで，合計で5，320万円の工事を行っております。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 今の2件は，全てもう完了しているのですか。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） まず，市道宮床線，こちらは忠海高等学校東側から国道185号線，宮床地区が終点の旧忠海西小学校まで通ずる道路でございます。こちら，平成29年度に用地買収が完了しまして，30年度工事を進めております。今年度，令和元年度完成を，現在も工事を進めておりまして，今年度完成予定となっております。

また，一方の市道忠海中学校線，こちらについては，平成27年に，忠海学園の開校に合わせまして西側の道路を整備しているものでございまして，平成30年度は用地の取得，物件補償を完了いたしまして，30年度工事を着手しております。完成年度につきましては，2年後の令和3年度を予定しております。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 今の忠海，2カ所，工事をやるということで，他の地域で道路を新設する予定等は，今後あるのですか。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） 現在，道路新設の改良で行うというところは，今のところ予定はございません。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは，橋梁維持費に移ります。253ページ。

竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） それでは，253ページ，2番の橋梁維持改修に要する経費，当初予算は測量設計委託料2,850万円，維持補修工事2,900万円，合わせて5,750万円となっております。執行額が約3,150万円ということになっています。その中で，設計委託料2,850万円に対し，3,154万7,841円，約250万円の増となっております。その，まず理由をお聞かせください。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちら，橋梁点検の点検委託料でございます。こちら，当初予算から増額ということでございます。

こちら，当初はこの橋梁点検，平成30年度で竹原市内全ての橋梁を点検するというところで，これは法律で義務づけられたものでございまして，平成30年度，委託でやるものと職員が点検できるものということで，一部職員で点検する計画にしておりましたが，7月の豪雨災害が起きまして，それに伴いまして復旧作業ということで，点検が職員でできないということで，やむなく委託料を増額しまして，その委託料が増額になったものでございます。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） 竹橋委員。

委員（竹橋和彦君） 320橋のうち189橋を今実施済みで，残りを30年度に実施するという事だったのですが，これ進捗率は100%ですか。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君）　こちら、市内の橋梁 320 橋ございます。こちらについては、平成 26 年度から計画的に点検を進めまして、平成 30 年度、1 巡目の最終年度、こちら 100 橋余りございましたが、この 100 橋のうち、一部、昨年の災害で 4 橋ほど落橋して、点検ができない橋梁もございます。それを除いて、全ての橋梁は点検を実施しております。今年度から、また新たに 2 巡目の点検を実施する予定にしております。

以上です。

委員長（堀越賢二君）　ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君）　それでは、河川費に移ります。

河川総務費、255 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君）　港湾費の港湾管理費、255 ページから 257 ページの上段。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君）　続いて、港湾建設費、同じく 257 ページ。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君）　それでは、都市計画費に移ります。

都市計画総務費、257 ページ中段から下となります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君）　次ページ、259 ページから 261 ページの上段。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君）　259 ページから 260 ページの中で、集約都市形成支援事業に要する経費の中で、まちづくりコーディネート支援委託料 1,500 万円が予算では計上されておったわけですが、それが実行されていないのですが、その理由について教えてくださいませんか。

委員長（堀越賢二君）　都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君）　集約都市形成支援事業の経費についてなのですが、こちらの経費は、昨年度、調整課の方でまちづくりコーディネートということで、庁舎の跡地活用、こちらのコーディネートと調査、今後の検討ということで、3 カ年事業、業務として進んでおりまして、それが 30 年度は調整課の方で実施という形で進んでおりましたが、災害を受けての凍結、これに合わせて跡地の方の計画の凍結ということで、業務が

実施されていないと聞いております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 災害があったということと、庁舎移転の方が延びたというような状況の中で、実施はなかったということによろしいのですか。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） そういう形で調整課の方から聞いております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、公園管理費に移ります。

公園管理費の261ページから263ページの上段部分ですが、こちらの2番、バンブー一体育施設管理に要する経費は除きます。

松本委員。

委員（松本 進君） 261ページが一番下の方のバンブー・ジョイ・ハイランドの指定管理委託料に関わってお尋ねしたいと思います。

委員長（堀越賢二君） いや、こちらは大丈夫です。

委員（松本 進君） 体育施設でしょう。

委員長（堀越賢二君） はい、大丈夫です。

委員（松本 進君） 一番下の分に関わって、決算資料を出してもらった38ページから39ページ、40ページにそれぞれ収支を出していただいております。1つ、指定管理委託料はこの辺に出しているのですけれども、この決算資料を見ると、それぞれ38ページでは、平成28年度では159万円弱の黒字といいますか、平成29年度では52万円余りの黒字、決算年度では、30年度では116万円余りの黒字ということで、1つは初歩的なのですが、例えば39ページの平成29年度の黒字が52万3,000円ぐらいありますよ。それは、この決算年度に、普通でしたら繰越金とかというのであるのかなと思うのですが、わかりにくいものですから、そういった会計処理はどうなっているのかをお尋ねしておきたいと。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） こちら、収支差額ということで、収益で出たお金がどうな

っているかという御質問だと思うのですが、今、この収益のうち、市の方に納めるということにはなっておりませんので、指定管理業者が自主事業として、収益を上げた場合には、その次の年の自主事業へ向けての費用としてそのまま繰り越すというか、利益という形で処理されております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 松本委員。

委員（松本 進君） 確認というのは、この資料を見ますと、平成29年度では、一番下のところに、32万3,458円という黒字になっています。これが黒字ですから、今度は次の40ページの今の決算年度で、平成30年度、今審議しているわけですが、ここに本来会計処理で、指定管理料プラス繰越金というか、何か普通そこに入る処理がされるのかなと思って確認したのですが、今聞いていると、自主何とかかんとか、そこから、自主事業というのか、そこは意味がわかりにくいのですが、会計処理上はきちっとしておいて、あとはいろんな使い方というのは決算、収支の方で、出の方で出てくる、載るわけでしょうけども、そこらが、要するにこの記録がどこにあるのかなど。前年度の52万3,000円が黒字になっているけど、この次の決算年度には収入の部でどこに載っているのかなというのが決算資料でわかりにくかったものですから、確認を一つ求めました。それがわかれば教えてほしいということです。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。30年度の中のどこの部分に、その52万3,458円が入っているのかというふうな質問だと思います。それが少し、数字が見えにくいということだろうと思いますので、その説明をお願いします。

都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 今の金額について、貸借対照表、こういうものでないと数字が載っていないみたいなのですが、現在、その資料は持ち合わせていないので、状態になっております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） この委員会の資料の中の、40ページの中の部分では見えにくいでしょうか。

都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） この中には出ていないのですが、自主事業での収益ということなので、繰り越すという形にはとっていないのですが、利益を出したら次

の年の事業にきなさいという形にはなっていないということでもあります。

委員長（堀越賢二君） そしたら、指定管理者の別枠ということですか。

委員（川本 円君） その資料の中身を個別に聞けばいいのではないか。

委員（松本 進君） そこに載っていないから聞いているのですが……。

委員長（堀越賢二君） 松本委員。

委員（松本 進君） それでは、別の件に移しますと、ここの決算年度を見てみますと、管理運営費の中の修繕料が決算では38万4,000円があって、その右の方に事業をいろいろ書いています。決算の事業です。38万4,000円幾らということで、ここで聞きたいのは、修繕料なんかで、たしか30万円を超える場合は市と指定管理者が案分してやるとかというのがあったので、そういった分はこの中には含まれていない、30万円以下の分が全部入っているというような解釈でいいのかどうか、確認しておきたい。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 今、おっしゃられたとおり、軽微というか、安い額の修繕だけが指定管理の方でしていただいて、それ以上のものは市で負担して実施しております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 公園管理の中で、うちは中須公園がありますね。毎年、あそこをきれいに散髪してもらっているのですが、あれはどういう形で申請があるのか。今、子どもたちが4時ごろ帰っていると、あそこへ二、三十人、いつも集まって遊んでおられるのですが、きれいに木を、ほとんど伐採すると、陰がほとんどないようになるのです。どういう理由であれ、きれいに散髪するのか、どこか申請が出るのですか。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 公園の樹木の剪定という形なのですが、今、委員さんが言われたように、申請があるわけではなくて、年間契約でやっております。これ、ちょっと覚えていないが、何年か前に不審者、そういう関係で、見通しをよくしようということで、いろいろ公園の方の見えなくなるような木は切っていこうという形でやりました。その状態を引き続きながらやってきている状況になっております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） それは、周囲の見通しがいい、間引いて見通しをよくするというのならわかるが、上の方まで、子どもの全然見通しには関係ないわ、枝は子どもの背丈の2倍ぐらいのところから枝が伸びているのだから、見通しが悪いということはない。悪いことはないんだ、きれいに剪定しているから、かなり大きな木も。それは聞くところによると、葉っぱが落ちるとか、木だから葉っぱが落ちるのは当然だが、もうちょっと一つの団体だけではない、ああやって子どもが毎日天気がいい折には、特に今年のように暑い日には、木が茂っていないと、ちょっと茂っていても風も涼しいし、遊ぶのにちょうどいいのです。だから、そこらの整理をしてくれ、木を切ってくれという団体と、そこらの整合性というのは考えてやってあげないと、一方では遊ぶのに木があって、葉っぱがだんだんだんだん落ちたら邪魔になるという理由もあるのだろうと思うのだが、そこらは公園で木が伸ばすことに意味があることもあるのだから、その見通しが悪いだとか、見通しが悪いのなら向こうの道路側にある木を切らないと見通しが、改善されない。そうではないんだ、理由は。そんな理由を言うのなら、それは私も、何遍も現地、あそこを歩いているのだから、よく見ているのだ。

だから、木というのはそうやって、公園というのはみんなが利用するわけだから、私は広島へ行って、県庁の前へこう木があるわね。あの下へちょっと立っているだけでも、すっと風が違う。だから、子どもたちが日が暮れる前ぐらいまで遊んでいるのだから、そこら辺も考えて管理してあげてください。

委員長（堀越賢二君） 建設部長。

建設部長（有本圭司君） 御指摘のあった件でございますが、以前から中須公園については、地元から剪定してほしいという要望も事実ありましたので、その辺は地元自治会長を交えて、今後、どういう形がいいかというのは調整していきたいと考えていますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） それはわかっている、言ってきたところは。それはゲートボールをやるのに、葉っぱが落ちたら邪魔になると言っている。そうではなしに、子どもらがいるのだから、そこらも並行してやってあげないと、将来ある子どもが毎日のように遊んでいるのだから、私も何遍も見て、学校の校長さんにも言っているのだから。校長さんも、あそこで遊ぶこともいいのだが、車の心配があるのですというようなことも言っていた。そういう、将来的に考えてやってあげないと、一方通行ではだめです。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、街路事業費に移ります。同じページの中段になります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 駐輪場管理費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 土地区画整理事業費、こちらは263ページから265ページの中段までとなります。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 265ページの新開地区区画整理事業についてお聞きしたいのですが、22番、移転補償5,143万4,113円、損失補償の102万797円につきまして、移転補償について、この5,000万円ぐらいで何件補償移転していただいたのかということと、損失補償はどういうものが損失補償するのかということをお教えください。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 区画整理事業の中の移転補償と損失補償についてですけれども、まず移転補償の方です。これ、予算が7件の家屋移転として8,000万円の予算を受けておりましたけれども、現実、協議等が調って建物の補償として住宅が2件、工作物が1件、倉庫、動産ということで、4件の移転を実施しております。

あと、損失補償の予算額300万円の方なのですが、こちらの方は休耕補償等と資産税補償、税金の補償とか、こちらの方が入っております。執行が102万797円ということで、一応、こちらの方は、協議は調ったところに発生する可能性もあるので、予算上は300万円にしていますが、今、執行はまだとなっております。

件数は、高額、低額とありまして、高額が7件です。その中間がありますけれども、トータルでいったら16件ほど補償をしております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 新開地区の整理事業、かなり今、進んできたとは思っているわけですが、住宅も増え、また商業施設もかなり増えてきて、竹原としては、人口減少等起

こるわけですが、ここらは多分人口減少とか、いろんな雇用の面では増えていると思います。その辺について、今後計画的に、ここについてはやっていくということだろうと思いますが、その辺のことについてお聞かせいただければと。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 新開区画整理事業、30年度、進捗率84%という形で進んでおります。今、おっしゃられた経済効果、全体での経済効果は、金額的には把握してはおりませんが、建物の建設状況等で、確実に増えているという認識をしております。

具体的に言いますと、新築累計件数がこれ210件、昨年度からいくと10件、これが、新築が増えております。それ以外に、そちらの人口が234人純増で増えております。こちらの人口増と建物が建っているのと、また商業施設、これも大きな商業施設が昨年度建設されまして、そちらの方の雇用も増えていると認識しております。

区画整理事業の方が、今、竹原市全体でも人口減少、店舗の減少、就労の減少、こういうところへ向いて、歯止めになる事業として、一助として使えるものと思っておりますので、今後、進捗に力を入れながら進めていきたいと考えております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 松本委員。

委員（松本 進君） 1点だけお聞きしたいのは、先ほど進捗状況の報告がありました。それで、決算書を見ると、1億1,000万円という大幅な減額補正をされて、そういった進捗状況だと思うのですけれども、今後の見通しとしての解決の見通しというのか、対策、そういった見通しを聞いておきたい。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 事業進捗に関しましては、地権者との協議、合意、これが非常に大きなウエートを占めております。こちらに向けて、鋭意協議しておりまして、今も進んでいる、もともと反対地権者等も協議に乗ってくれる状況までには進んできておりますので、今のままの進捗状況で、今の予定で終わらせるよう努力しながら進めていきたいと考えております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、公共下水道事業費。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 下水道費。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） では、まだ審査の途中ではありますが、ここで休憩をとりたいと思います。13時15分まで暫時休憩とします。

午後0時13分 休憩

午後1時11分 再開

委員長（堀越賢二君） それでは、休憩前に引き続き、建設部の集中審査に入ります。

では、先ほどの続きとなります。

伝統的文化都市環境保存地区整備費、こちら267ページ、こちらの1、景観道路・修景広場維持管理に要する経費、こちらのみとなります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、住宅費に入ります。

住宅管理費、269ページの下段から273ページの上段までとなります。

下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 271ページ、住宅管理に要する経費のうちの14番、施設借上料、2,485万2,000円についてお伺いをさせていただきます。

これ、スマイルマンションということだろうと思うのですが、現在、どれだけの方が入居されているかをお伺いさせていただきます。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 子育て世帯向け地域優良賃貸住宅という形で、通称ヴィラと言っておりますけれども、こちらの入居戸数の方が30年度3月末で25戸、93%入居になっております。それを今年、今申し込みがありまして、2戸、昨日申し込みされたので、一応昨日の段階で、申し込み段階での満室にはなりました。この間、1年間で5戸ぐらいの出入りがありましたけれども、その都度、入居していただいている状況で、今、進んでおります。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 全て入っていただいているということで、大変いいことだと思っ

ています。

市としては、借上料、毎年2,400万円お支払いして、入居費をいただいているわけですが、なかなか費用対効果は難しいところがございますけれども、この狙いは、どうしても若い世代の方に竹原市に住んでいただくための、要するにスマイルマンションだと思っておりますが、今までにそういう状況の中で市は進めてきて、ここに入居された方が退去されて、竹原市内へ新居を建てるとか、竹原市で住まれているとかということが、そういう人数等がわかれば教えていただきたいのですが。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） スマイルマンションの事業効果についてなのですが、今現在、目的として、委員の方がおっしゃられたように、竹原市内へ住んでいただいて、人口が減少するものの一助になることも一つの目的になっております。その結果として、スマイルマンションを出られた2名の方は、近辺の区画整理のエリア内ですけど、家を新築して住まわれました。こちらは、うちの目的とするところに一番合致した結果だと思います。それ以外でいきますと、入居の方が市外から12戸、市内が13戸ということで、12戸の方は市外から転居していただいたということで、そちらの効果の方も、経済効果をあわせて出ているのではないかと考えております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 下垣内委員。

委員（下垣内和春君） 今後も、積極的に入居募集したり、そういう形の中で、市内に住んでいただくような施策をやっていただくように、よろしくお願ひしたいと思います。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 住宅管理のうちの修繕費、11番、1,291万9,000円余りですが、これはどういう内容で何カ所ぐらいやったのか。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 済みません。修繕料についてなのですが、一応、115カ所の修繕を行っております。こちらにおきましては、小さな修繕から雨漏りまで、いろいろしている状況になります。工事別では、建具の修理、集会所の修理とか排水、給水、シロアリ、内装工事、外灯、雨漏り、浄化槽とか外壁、こういう修理を行ってござ

す。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 昨年度で一番低額な家賃は幾らぐらいになるのですか。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 最低の、低額の家賃のデータは、今は持ち合わせておりません。申しわけありません。

委員長（堀越賢二君） 後ほど報告いただきます。

委員（宇野武則君） ざっくりでいい。

委員長（堀越賢二君） 建設部長。

建設部長（有本圭司君） 私、以前、都市整備課長を担当しておりまして、私の経験によりますと、最も安い家賃は800円という認識をいたしています。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

川本委員。

委員（川本 円君） 271ページ、同じく14番の施設借上料のところでお聞きします。

今、下垣内委員の方から出ましたが、費用対効果については、30年度で、今年に入ってほぼ100%に向かっているというふうな、非常に喜ばしい結果ではございます。

それについて関連したことになるのですが、そもそもこのスマイルマンションを始めた当時、6年間のあれがありましたよね、子どもが、何だったっけ。

都市整備課長（西吉八起君） 家賃助成。

委員（川本 円君） 助成がマックス6年間までということになっていたと思います。それを考えると、もうそろそろ6年が近くなっている年度に入ってきておりますが、当然のことながら、助成がなくなると今よりは家賃は万単位で上がってきます。その際に、今まで入居されている人が出る可能性が十分高いと私は思いますが、それに対する将来に向けてどういうふうなことに、取り組んでいることがあればお聞かせ願いたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） 家賃助成の方が、今、言われたように3万5,000円、市外5,000円の計4万円が最高の助成をしております。こちらは一応6年間、新婚で

まだ子どもさんがおられない方は3年間猶予がありますので、計最大9年間の家賃助成という形になっております。

今おっしゃられた、今後家賃助成がなくなった場合に、どうしていくのかということがあるのですが、今のところ、家賃助成を延ばそうとかという検討はまだしておりません。今、集会所の方を有効活用しながら使っていただいて、もっと魅力を上げて、そこら辺を確保していける方向を考えながら、進めております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 川本委員。

委員（川本 円君） では、家賃助成を、助成期間を延ばすことは、まだ今現在考えていないと。抜けられた後、当然一斉に、心配しているわね。1戸、2戸ではないと思うのですよ。だだだだっと退去されるのが非常に心配で、それを退去された後にまた新しい人がどどどどっと入ってくればそれは問題ないですよ。だけど、実際、満杯になるまで3年もかかったのではないですか。だから、今のうちから動いておかないとまずいのではないですかって、そのことについてどうお考えですかということをお聞きしておきます。

委員長（堀越賢二君） 都市整備課長。

都市整備課長（西吉八起君） おっしゃられるとおり、6年間で一遍に退去という形のことも考えております。

今現在、実情でいきますと、当初なかなか入居しなかったもので、そこら辺が、今、14戸と今年入った、15戸ぐらい入っておりますので、それでいくと3年ぐらいのちょうどタイミングにはなって、半数が抜けるという可能性というのが今後出てくるとは思っております。こちらの方も、建物も今は新築です。これがどんどん古くなる。入居していただける条件としては、非常に厳しくなっていくというのは承知しておりますので、そこら辺を踏まえながら検討はしていかないといけないと考えておりますので、今後検討はしていきたいと思っております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 現時点での検討という具体的なものは。

都市整備課長（西吉八起君） そうですね。今、現時点では、そのような危惧はしておりますけど、検討はまだ入っておりません。

以上です。

委員長（堀越賢二君） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、用悪水路費の樋門維持管理費、273ページ中段となります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、急傾斜地崩壊対策費、273ページの下段から275ページの中段あたりまでとなります。

松本委員。

委員（松本 進君） 簡潔にしたいところですが……。

委員長（堀越賢二君） よろしく願いいたします。

委員（松本 進君） この決算年度、県の事業でやられて、336万1,000円余りが支出されておりますけども、この事業箇所と、それからそれと関連するのですけれども、人家がある危険箇所が相当あったと思うのですが、決算年度でやる、三、四カ所かなと思って確認したいのですが、そのペースでいったらあと何年ぐらい整備、完了するまでかかるのかなということをお尋ねしておきたいと思います。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） まず、今回の負担金の箇所でございますが、こちらは大井地区と、あと平成30年度に被災しました箇所につきまして、県が災害関連の事業を行うということで、片山谷、観音谷、小平方というところを予定しておりまして、その負担金として336万円を負担の支出をしております。

また、今後、何年で整備がという御質問でございますが、急傾斜につきましては、原則、急傾斜事業、今回の被災では市の事業として2戸以上が採択になりましたが、通常の急傾斜事業、こちらにつきましては斜面が30度、5戸以上のものが対象ということになっております。現在、対象になったものについての今後何年でという、今、指定を、かけているところとかかかっていないところで整備が済んでいるところが約7割ということで、あと3割がまだ未整備ということになっております。これは、5戸以上を対象にしたところの整備率でございます。

以上でございます。

委員長（堀越賢二君） 完了予定の。

建設課長。

建設課長（大田哲也君） 完了予定につきましては、5戸以上のところが3割残っており

ます。こちら、県の事業で行っていただいておりますので、我々も早期に全箇所復旧工事が終わるように、県の方に要望してまいりたいと考えております。

以上です。

委員長（堀越賢二君） 松本委員。

委員（松本 進君） 県の対応があることですから、今、例えば私が聞いたのは、今年度災害復旧が増えているようですけども、そういう特殊要因、特別要因といいますか、それを含めて聞いているのでいいのですけども、例えば3件プラスで4件やっているよということで、1年間に仮に4件が完了までいくかどうかはあれですけども、一応4件ぐらい着手して、あとさっき言った5戸以上という、30度以上という未整備の分が3割あるということで、その箇所が何カ所あって、例えば最大限4カ所ぐらいのペースでいったとしたら、あとどのぐらいかかるのでしょうかというのは、計算すぐできるのではないかなと思ってお聞きしました。

委員長（堀越賢二君） 建設課長。

建設課長（大田哲也君） こちら、防災計画の中で、5戸以上の危険箇所、98カ所がございます。その中で、現在、指定をかけて、急傾斜を行うに当たっては必ず指定をかけることが大原則となっております、その指定が73カ所かけております。その箇所数での率として約7割が整備をされているという状況でございます。

以上です。

委員長（堀越賢二君） よろしいですか。

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、交通安全対策事業費に移ります。275ページ中段です。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、災害復旧費に移ります。

公共土木施設災害復旧費、333ページ中段から下となります。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、続いて農林水産施設災害復旧費、335ページの上の部分になります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、一般会計を終了いたします。

特別会計に移ります。

特別会計の港湾事業特別会計の歳入、ページ数は374ページ、375ページとなります。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、歳出、337ページから379ページまで。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） それでは、公共下水道事業特別会計に移ります。

こちらまず歳入、383ページから385ページ。ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） 続いて歳出、387ページから393ページまで一括で行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（堀越賢二君） ないようですので、以上で建設部の集中審査を終了いたします。

次回は、明日27日金曜日10時から総括審査を行いますので、各委員の皆様におかれましては質疑の準備をよろしくお願いいたします。

以上で第4回決算特別委員会を散会いたします。

お疲れさまでした。

午後1時31分 散会